



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 Vol.3 平成30年9月12日

2年生の医療専攻で、夏季休業中の8月8日(水)、「サマーセミナー2018inKOIDE」(開催場所 魚沼市立小出病院)に参加してきました。とても充実した内容で、「なりきり実習」「ブタ皮膚縫合」「模擬回診」など、実際の医療現場で働く人たちと直接触れる機会を多くもてました。今回は、そこで実施した内容や生徒の様子・感想などを一部紹介していきたいと思います。

【サマーセミナー2018inKOIDE 8月8日(水) 当日のスケジュール】

時間	実習内容	講師等
8:50~	入院棟玄関 (更衣→講堂)	ユニホームの着用
9:10~	院長挨拶 看護部長挨拶 職員紹介	布施院長 教育センター長、看護部長、事務部長、事務課長(紹介)
9:25~	日程説明	教育センター
9:30~	なりきり実習	各セクション
11:00~	ブタ皮膚縫合等の実習 【講堂】	関口整形外科部長 鈴木センター長、看護部 研修医2名
12:00~	昼食・休憩	
13:00~	院内見学	グループ単位
13:30~	血圧、血糖値、サチュレーション測定 【講堂】	鈴木センター長、看護部
14:00~	ワークショップ 【講堂】	各セクション職員、研修医、医学生、看護学生、高校生
14:45~	模擬回診 【講堂】	布施院長、関係職員、医学生、看護学生、高校生
15:45~	院長講話 【講堂】	布施院長
16:30~	終了 更衣後解散	

1. 「なりきり実習」・・・様々な職種を体験させてもらいました！

①看護師(病院棟)

・実際に入院している患者さんの体温と血圧を測る体験をした。
一人の患者さんに対して、一人の看護師が担当すると思っていたが、看護師2人(PNS・・・パートナーシップ・ナーシングシステム)で患者さん10人を担当していた。PNSは、患者さんの治療についての意見交換ができ、看護師同士の会話も増え、新人でも質問しやすい環境ができるとのことだった。患者さんのためにもなるし、看護師のためにもなるとても良いシステムだと思った。

・点滴を患者さんに打つときは、間違いがないように、患者さん自身に名前と生年月日を聞き、確認してから行っていた。患者さん自身に確認が取れないような場合は、腕につけてあるタグやベッドについているものを見て確認しており、ミスがないように徹底していた。



【小児科の見学】・予防接種の様子を見学した。ワクチンの種類の多さ、予防接種の回数を知って、こんなにもあるのかと正直驚いた。医師と看護師が協力して、赤ちゃんや子どもが暴れないように注射をすばやく、ミスなくテキパキうっていた。また、パラシュート反射(体を傾けたときに手を出すかどうか)のチェックもしていた。
・子どもの不安な気持ちを取り除くために、子どもが喜びそうなアイテムをたくさん用意してあった。表情だけでなく、心拍数などもはかって、見た目ではわからない子どもの不安な気持ちを察していてすごいと思った。

②看護師(訪問看護)・・・リハビリテーションさくら

・お年寄りの方と話すときの”声の大きさ”や”スピード”の一つ一つに看護師さんの優しさを感じた。また、お一人で生活をしている患者さんにとって看護師の訪問は待ち遠しいのでは?と感じた。
・住み慣れた自分の家にいるほうが、患者さん自身もいいんだなと、表情を見て思った。
・私は病院内で働きたいという希望があったが、退院したあとの患者さんのサポートをするのもすごく魅力のある仕事だと感じた。



③看護師(保健師)

・保健師とは、人が産まれてから死ぬまで人に寄り添うことができる仕事であることがわかった。
・保健師は地域の人と関わっていて、各地域の病気の統計をまとめたり、そこで注意を促したり、地域の人々の健康を支えるとても重要な仕事をしていることがわかった。病気を治すというよりも、過ごし方を支援し、支えていた。

④診療放射線技師

・放射線科の仕事内容は主に「画像検査」と「画像再構成」があった。放射線であるX線を利用するレントゲン写真・CT検査と、磁気を利用するMRI検査などがあった。実際の仕事の現場を見たり、機材を動かしたりして、人間の身体の構造をよく理解していないと、うまく撮影できなかつたり、画像の再構成もスムーズにできないと感じた。
・医師から依頼された部分だけを残し、その他の部分を消すことにより、重なり合って見づらい部分を見やすくしたり、いろいろな角度から確認できるように画像の編集をしていた。PC・機械操作の必要性を強く感じた。
・検査の際に、患者の不安な部分を取り除くために、丁寧に説明し、優しく声をかけている姿が印象に残った。また、患者さんが横になっても疲れないように、柔らかいものを挟んだり、痛いところはないかを聞きながら操作をしたり、常に患者さんに配慮することが必要だと感じた。



⑤臨床工学技士（臨床検査技師）

- ・透析やAEDの動作確認などを見学し、はじめて透析の様子を見学させてもらった。**透析の機械が腎臓の役割をになうもの**だと知った。ミスの許されない仕事だと思った。
- ・AEDが正常に動作するか確認するのも、仕事の内容に入っていてびっくりした。



⑥理学療法士

- ・患者さんのリハビリに実際に付き添い、自分の手で硬くなった筋肉をもみほぐしてあげたりと中身の濃い体験をさせてもらった。
- ・家族の一員みたいな感じで患者さんに接していた。**自然な会話**の中でコミュニケーションがスムーズにとれていて、**すごく患者さんからの信頼感や安心感がある**と思った。長い時間をかけて信頼関係を築いている様子がよくわかった。
- ・最初は重い病気だと思っけても、リハビリをしてみると思っているよりも回復が早かったりするので**最初からあきらめないことが大切**だと教わった。
- ・病院でのリハビリだけでなく、家に帰ってからの生活を考えて、リハビリをしていた。患者が自分一人でもできることをしっかり教えていた。また、家に危険なところがないか1回家に行き確認し、危ないところがあれば工事するようにお願いするような仕事もしていたのには驚いた。

⑦言語聴覚士

- ・治療の場に同席させてもらった。患者さんへのマッサージやマヒをしている筋肉をほぐしながら、体調を把握していた。
- ・嚥下（えんか）・摂食なども言語聴覚士さんがやっていることが分かった。
- ・**患者さんと何年も向き合うような仕事で、根気がある仕事**だと思った。
- ・歯科医師や歯科衛生士とのコミュニケーションも必要だとわかった。



⑧MSW（医療ソーシャルワーカー）[地域医療連携科]

- ・小出病院にある地域医療連携科の仕事内容を見学した。正直、名前すら知らない場所で、何をしているところかわからなかったが、**患者さんが住みやすい家の改築の提案をしたり、地域の福祉施設の相談、他の病院との連携など、患者さんによりよい生活のサポートをする部署**だということがわかった。
- ・**「患者さんが退院したら終わりじゃなくて、退院してからが始まり」**で、そのために患者さんとその家族と何度も面談を行っていた。医療と患者・地域をつなぐとても大切な仕事していた。ソーシャルワーカー＝「相談員」で、MSWの職種は、社会福祉士や精神保健師の国家資格をもつ職種であることがわかった。

2. 「豚皮膚の縫合の実習」

- ・傷口の皮膚周りや使う道具を清潔に保つことにすごく注意を払っていた。**衛生面に気をつけながら、手術することが大切**だと改めて感じた。
- ・実際に皮膚を縫うところを間近で見られたので非常に貴重な経験になりました。道具の扱い方や清潔なところとそうでないところの区別がとても厳しくてびっくりした。とても繊細な作業で、少しでも間違ってしまうと、傷つけたり、菌が入ってしまうので、相当な練習が必要になると思った。



3. 「院内見学」「血圧・血糖値・サチュレーション測定」



小出病院の施設を班に分かれて見学



看護師さんの指導のもと、血圧や呼吸回数、脈回数を測定

4 「ワークショップ」



（医療従事者との懇談会）
希望の職種に分かれて、先輩方に質問したり、助言をもらったりできてよかった。
「大学と専門学校の学びの違い」「その職種を希望した理由」など、丁寧に教えてもらって良い時間帯だった。

5 「模擬回診」

- ・回診時は、患者さんとの持病、生活環境、ケガの状態など様々な情報を考慮した上で、医師、看護師、MSW、ST、OT、PT、などが意見を出し合っ、患者さんの意思にそった対応を決めていた。自分の職種以外の医療者の立場も知っておく必要を感じたし、そうすればカンファレンスの時にも役に立つと思った。
- ・回診の様子を演劇形式で小出病院の先生方に演じてもらい、**チーム医療の様子を非常にイメージすることができた**。忙しい中、ありがとうございました。
- ・高齢者に多いのが、たくさんの種類の薬を所持してしまい、**無駄に多くの薬を飲んでしまう「ポリファーマシー」（必要以上に薬をのんでいる状態）**について知ることができた。薬剤師はその中から、今本当に必要な薬だけを選んで、薬の数を減らす助言をしていた。



6 「布施院長の講話」



- ・医療人になるうえで、必要な心構えをおしえてもらった。患者さんから、心から「ありがとう」と言ってもらえるように、医療に関わっていきたいです。
- ・患者さんの**「患」＝「心が串刺しにされた状態」**の人のことで、医療人はその串を抜いてあげる。「看護」の「看」は「手」と「目」で、これが看護の基本の姿勢で、患者さんをしっかり見て、手で触れて、痛みを和らげることなど大変興味深い話をしてもらい、医療人を目指す上で気持ちが引き締まった。